

第9回栗東市中小企業振興会議概要

平成27年10月6日(火) 午前10時00分～11時30分

栗東市役所2階 第1会議室

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. 市長あいさつ

栗東市においては条例の制定、ビジョンの策定、ロードマップの全体像が見えてきたところで、その中で地方創生「まち・ひと・しごと創生」の関係で栗東市でも総合戦略または人口ビジョンを策定させていただいている。

これから全体のロードマップが見えてくる中で総合戦略をより具体的に中小企業の皆様にご理解いただいて町の活性化につながるようにしたい。

(資料についての確認→事務局 省略)

(出席者自己紹介)

4. 会長・副会長の選任

事務局

会長、副会長の選任について参考資料2にあるように栗東市中小企業振興会議の設置要綱第5条において振興会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定めるとなっていますが、皆様よろしいか。

委員

事務局で決めたらどうか。

事務局

私どもで用意している原案を発表させていただきます。
前回から引き続いて会長には商工会の清水会長、副会長には近藤委員の方をお願いしたい。事務局原案のとおり進めさせていただいてよろしいか。

委員

異議なし

清水会長・近藤副会長の挨拶→省略

5. 協議事項

(1) 会議の傍聴について

事務局

資料1の栗東市附属機関等の会議の公開に関する要領について、市政の見える化の推進、公正性の確保を図るため、この要領を定め本年の10月1日から施行している。

当会議は要項を定めているので、要領第2の「対象の附属機関」に該当し、要領第3の「会議の公開の基準」に定めているとおり、原則公開を前提として、要領第4の「公開・非公開の決定」に定めているとおり、この会議の中で会長に決定をいただくという手続きをとる。尚、定員について会議室によって配分することとし、本日は20席の設定をさせていただく。今後については会議の都度、公開・非公開の判断をしていただき、今後の専門部会においても同様の取扱いで対応したいと考えているのでよろしくお願いしたい。

会長

中小企業振興会議の傍聴にかかる取扱いについて事務局案についてご意見ありますか。

委員

異議なし。

委員

開催の事前告知が必要なるが、公開・非公開の対応はどうなっているのか。

事務局

個人情報が含まれる案件については、その部分を限定として、非公開にする。その他については原則公開という形で会議を進める。

委員

了解した。

(2) 栗東市商工振興ビジョン・ロードマップの策定について

(見直しポイント)

事務局

1. 「体系の再構築」：ロードマップ骨子、前半期ロードマップ、ロードマップの解説版を含めて、今後の振興会議のあり方、他の個別計画との整合性を考え、4章仕立てで整理していきたい。具体的には、専門部会で策定作業をお願いしたい。

2. 「事業実施計画としての総合戦略」：「まち・ひと・しごと創生法」いわゆる地方創生法に基づいて、国・県・市町村が振興ビジョンあるいは総合戦略を策定する流れになる。本市も同様に取り組んでいく。栗東市の商工振興ビジョンはまちづくりと中小企業振興を結びつける方向性。地方創生となるところは、将来の人口減少に備えた対策であり、主に雇用や創業、若者、女性の仕事に関する部分である。このようなところが、栗東市の総合戦略を考える上で商工振興ビジョンと密接な関係にある。従って、総合戦略の計画期間である平成27年度から平成31年度までの5年間で前半期ロードマップによる商工振興施策で明らかにしていきたい。

3. 「計画年次の見直し」：これまで前半期ロードマップは平成26年度から平成31年度としていたが、総合戦略及び栗東市の第五次総合計画が、平成27年度から平成31年度までなので、これらと整合性を図るため、計画年次を見直すもの。

4. 「実施主体の細分化」：これまでロードマップ骨子及び前半期ロードマップは行政と事業者の二つの主体によって役割を整理してきた。一方、中小企業振興基本条例では市の役割、中小企業の努力、大企業の努力、市民の理解と協力の四つの主体によって施策の推進を図るとしておりますので、今後は四つの区分の役割を明らかにした形で再整理したい。

5. 「進行管理」：総合戦略が成果指標を設定しているので、それが進行管理の目安になる。その進行管理の主体を中小企業振興会議に位置付けたい。現要綱では明確に規定していないので改正する。

6. 「関係課への意見照会」：各課の現時点の意見を参考資料にまとめましたが、内容については、今後の専門部会で議論いただき、最終的には振興会議で前半期ロードマップへの反映の有無を決定していきたい。

7. 「作業部会」：作業部会を設置する方向でしたが、時間的猶予がないため、ロードマップの策定完了までは専門部会で人員体制をスリム化して、具体的な制度設計をしていきたい。作業部会の設置については、来年度以降の進行管理あるいは計画の見直し時に対応したい。

以上7点、ご協議のほどお願いしたい。

会長

ご意見ありますか。無ければ7つの見直しを踏まえて今年度に商工振興ビジョン・

ロードマップの完成版を作成することで決定させていただいてよろしいか。

委員

異議なし。

(3) 今後のスケジュール（案）について

事務局

専門部会における協議検討を10月の下旬、11月の下旬をめぐり2回ほど開催したい。そして、12月末から1月までに第10回中小企業振興会議を開催し、策定したロードマップ完成版を公表したい。これを新年度予算に反映させ、次年度より施策を展開する方向としたい。

委員

スケジュールがタイト過ぎないか。

事務局

地方創生の総合戦略に色々な施策を反映させることが目指すところ。まずは、平成28年度の予算編成に間に合わせ、施策を明らかにしていく一方で、今後5年間の総合戦略の期間があるので、この中小企業振興会議の中で進行管理をお願いしたい。総合戦略は毎年度見直されるものなので、これにリンクをさせて、進行管理の中で社会情勢を踏まえながら計画改正させていただく形で進めていきたい。

委員

事情はわかったので、中小企業にとって大事なロードマップを完成に向けてしっかり進捗管理をしていただきたい。

委員

以前に専門部会から振興会議に上がってきた案件について議会に提出済みのため変更できませんということがあった。無理なスケジュールを組んで、また同じようなことが起こらないようにしっかり心掛けてほしい。

事務局

当時の事例については把握している。今後そのようなことがないように、厳しいスケジュールではあるが、委員がおっしゃったことはしっかり対応していきたい。

委員

協力はするが、道筋として踏み外すことのない上手な対応をお願いして、了解したい。

会長

12月議会に間に合わそうとすると、12月下旬に振興会議をされていては間に合わない。最初から振興会議を1月中旬頃の目標としておいて、その会議の議論を踏まえてもう一度議論することは3月議会なら間に合う。ただその思いだけは、予算方針、事業方針を決める時にはわかるようにしていただく。そういったスケジュールでよいか。

委員

異議なし。

- (4) 専門部会の設置、並びに委員選出

事務局

要綱第6条第2項において、会長は専門的な事項を調査するため必要に応じて振興会議に委員及び部会委員で専門部会を置くことができる。第3項では部会委員は振興会議において選任し、会長が依頼するとあり、事務局の案としては限られた時間内に専門会議を開催する必要があるため、これまで通り専門部会委員の方にご協力をお願いしたい。従来まで公募委員の方にもお願いしていたが、これらの計画もあるので、今回は公募委員の方は専門部会委員には含めていない。従来までの11名体制でしたが、8名体制でお願いしたい。尚、4番から8番の専門部会委員(案)の方からは内諾はいただいている。

会長

専門部会委員の選任について何かご意見は。

委員

選考基準は何か。ゴールラインが見えている方か。

事務局

専門部会を立ち上げた時からずっとお願いしている方々です。工業系であったり商業系の専門の方と聞いている。

委員

専門部会においても、予算要求も念頭において決めていくスケジュールなのか。

事務局

予算要求は事務局でしていくが、予算が伴う施策は専門部会で議論していただく。新年
度予算のリミットは1月の末なので、今後5年間において28年度すぐにすべき施策と
もう少し先の施策について、専門部会及び振興会議で議論いただいて、事務局から施策
を推進する上で予算要求をあげていく。

会長

専門部会の委員の選任について異議はないか。

委員

異議なし。

会長

次にその他について、事務局から何かあるか。

事務局

今後会議の日程調整をさせていただくが、これまでとおり10時からでよいか。

会長

皆さんの異議がなければ、10時から開会ということでよろしいか。

委員

異議なし。

委員

これまで経験上、専門部会から振興会議にあげさせていただいた案件は、否決はされ
ないが、必ずある程度の訂正が入っている。次回の専門会議までに参考となるようなご
意見があるようならば、今ここで挙げていただきたい。

委員

公募委員さんについても団体名・所属名等を記載した方が、その委員さんを理解して
もらい易いと思うがどうか。

事務局

完成版ができた際には携わっていただいた方の委員名簿を記載することになると
思うので、今おっしゃった内容を反映していきたい。

委員

重点施策2の2-4の長期間を展望した大規模プロジェクトの検討はどんなもの
をイメージされているのか。

副会長

これは大きな空き地に大規模なショッピングセンターを誘致してはどうか、山手の近
いところでリゾート的な開発をしてはどうかというもので、今すぐに具体的に展開でき
るものではないが、次の時代の栗東で核となるプロジェクトがあってもいいのではとの
意見を多くの方からいただいている。ロードマップ最終段階までにいくつか具体化、検
討できるものができればと考えている。

委員

振興会議までに、それまでの専門部会の議事録などを送っていただきたい。

事務局

委員がおっしゃったような手続きをしていきたい。そして次の専門部会に向けて振興会議委員さんにご意見シートのようなものを事前に配布させていただいて、そのご意見を専門部会に出していき、常につながりができるような状況にしたい。

委員

あまりにも資料が膨大であり、またご意見シートをいただけるならば、この会議の中でポイントとなるところを解説いただきたい。

副会長

参考資料5の前半期ロードマップ解説版（案）は具体的な施策が書かれているので、その内容について、実施することの是非、実施の方法など、ご意見などをいただければありがたい。

会長

ご意見なければ、先ほどのポイントを踏まえてご意見シートのような形で提出してください。それでは本日の協議事項は全て終了したので、進行を事務局にお返りする。

6. 閉会

事務局

それではこれをもちまして第9回栗東市中小企業振興会議を閉会させていただきます。長時間に渡り、貴重なご議論ありがとうございました。